

# 定例会見(平成23年4月)

---

## 議事次第

定例会見(16:00～16:45)

挨拶 代表取締役会長兼社長 橋本 圭一郎

### 会見内容

1. 最近の通行台数状況
2. 平成23事業年度事業計画の概要
3. 環境への取組み
4. 東日本大震災に伴う会社の対応
5. 海外展開について
6. コンサルタント事業の取組み
7. 首都高施設安全月間における取組み
8. 「首都高講座」の取組み

### 質疑応答

# 1. 最近の通行台数状況

## 1. 最近の状況

平成22年度の通行台数は、3月の震災の影響で前年度を下回った。

(単位:台/日)

	1月	2月	3月	4月
通行台数	1,071,223	1,108,708	948,974	1,034,821
前年同月比	100.7%	101.0%	80.9%	93.1%

平成23年4月は1日～24日の速報値

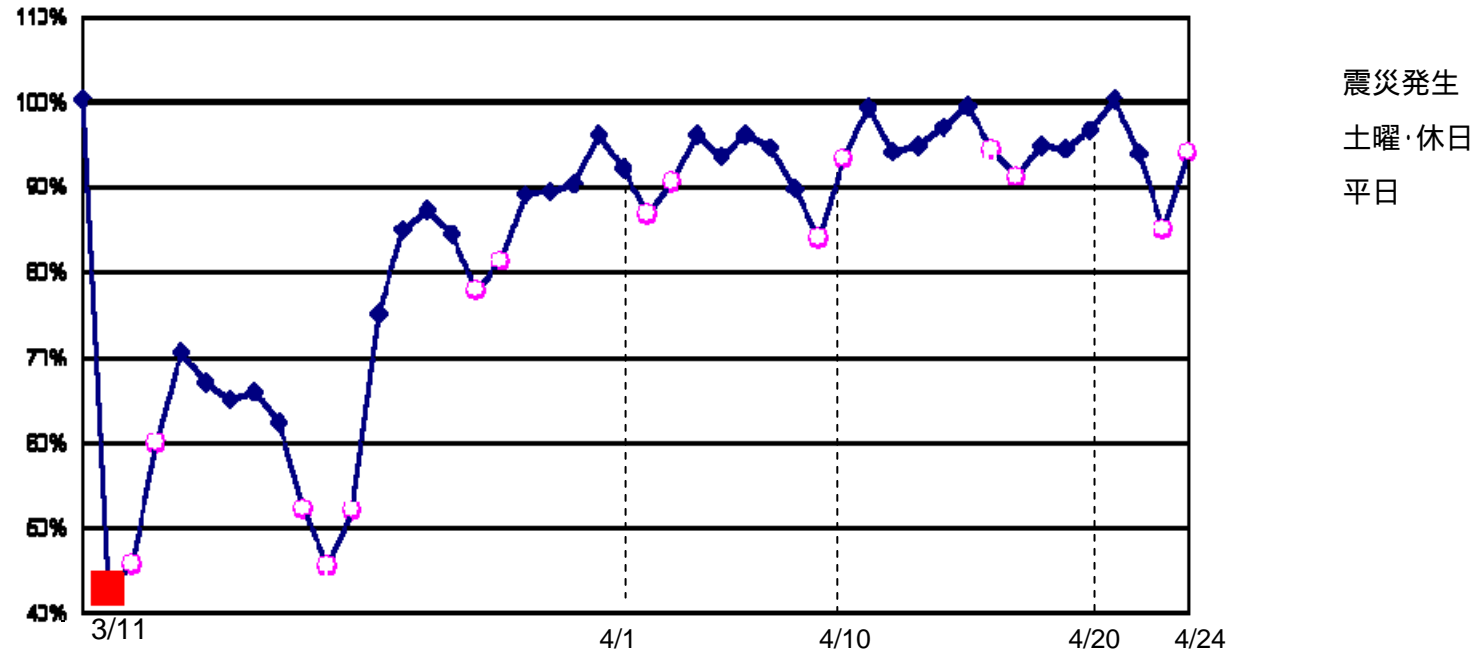
【参考】

(単位:台/日)

	平成22年度 (4月～3月)	平成22年度 (4月～2月)
通行台数	1,113,870	1,129,174
前年度比	99.5%	101.3%

## 2. 東日本大震災発生後交通量の対前年比較

震災発生直後は大きく落ち込んだが、徐々に増加している。

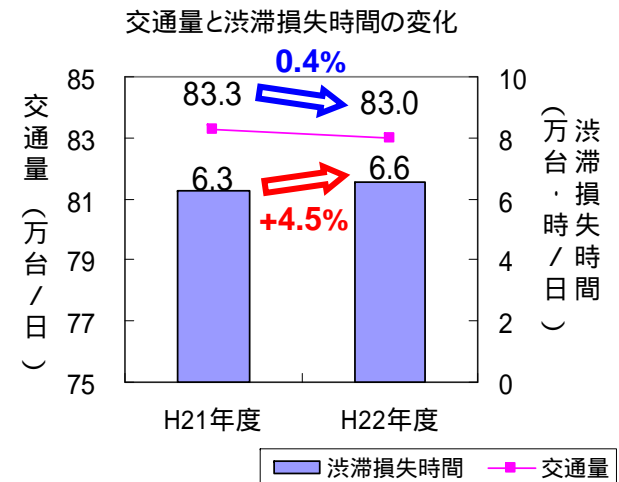
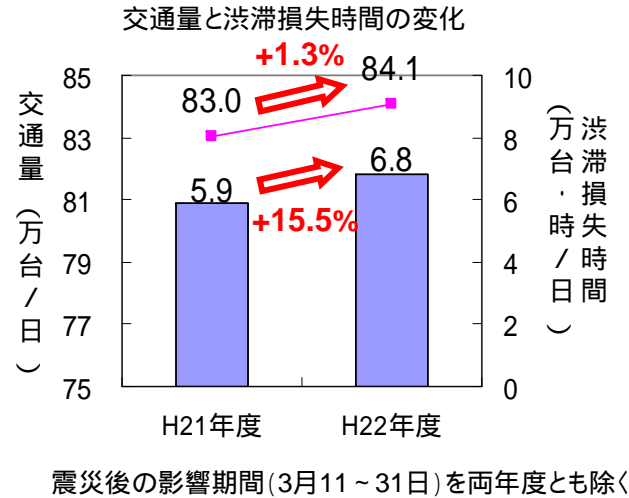


# 1. 最近の通行台数状況

## H22年度の交通状況(東京線)

H22年度はH21年度と比較して、震災発生前までは、交通量は増加(+1.3%)し、渋滞損失時間も増加(+15.5%)。

震災影響期間も含めると、震災後の交通量の減少により、H22年度の交通量は減少(-0.4%)。なお、渋滞損失時間は増加(+4.5%)。



データは全て東京線の月～土平均

## 大型連休時期の渋滞状況(見込み)

今年の大型連休時期(4月28日(木)～5月8日(日))は、震災影響により例年よりも全般的に渋滞が少ない見込み。

連休直前の平日(4月28日(木))や3連休初日(5月3日(祝))には、渋滞が比較的発生しやすい見込み。

渋滞損失時間：  
渋滞の規模を表す指標で、基準速度(規制速度)で走行した場合の所要時間から遅れた時間(損失時間)に交通量を掛けたもの

## 2 . 平成23事業年度事業計画の概要

---

去る3月31日、国土交通大臣から認可を受けた「平成23事業年度事業計画」に基づき、事業を滞りなく推進し、当社の社会的使命を果たします。

### ネットワーク整備、ボトルネック対策を着実に進捗

別添資料「事業レポート」P9～16

- ・「中央環状品川線」、「横浜環状北線」等のネットワーク整備を全面的に展開します。
- ・中央環状線の機能を存分に発揮させるためのボトルネック対策を着実に進捗します。

### 環境への取組みを積極的に展開

別添資料「事業レポート」P33

- ・埼玉新都心の見沼田んぼ地区では、「自然共生型の新しい都市高速道路」を目指し、ビオトープを整備しています。
- ・昨年開通した大橋ジャンクションについては、周辺環境と調和した緑化の創出を行うことなどにより、「グリーンジャンクション」の名にふさわしい環境施策を積極的に推進します。
- ・その他環境先進企業を目指した様々な取組みを実施します（詳しくは別添資料「環境レポート2011」参照）。

### 構造物の適切な維持管理を実施

別添資料「事業レポート」P23～25

- ・お客様に安心してご利用いただける高速道路を提供することは当社の最も重要な使命として、構造物点検の強化、損傷箇所への適切な対応、各種防災・安全対策の推進について、引き続き重点的に取り組みます。

### 3 . 環境への取組み

---

#### 1 . 大橋ジャンクションの取組み

別添資料「環境レポート2011」  
P27 ~ 30

#### 2 . 見沼たんぼ首都高ビオトープの取組み

別添資料「環境レポート2011」  
P21 ~ 22

#### 3 . EV（電気自動車）の普及促進

別添資料「環境レポート2011」  
P16 , 24

### 3 . 環境への取組み

#### 平成23年度 首都高の環境イベント予定

	時 期	イ ベ ント	場 所	内 容	記者へ の 情 報 提 供
1	5月11日	見沼たんぼ首都高ビオトープ・除草	見沼たんぼ	社員有志による除草	
2	6月4・5日	エコライフフェア 2011	代々木公園	首都高の環境施策をPR	
3	6月下旬	大橋換気所屋上自然再生緑地・田植え	大橋ジャンクション	地元小学校による田植え	
4	6～7月	見沼たんぼ首都高ビオトープ・学生実習	見沼たんぼ	専門学校、大学生による植物（水生植物、植栽樹）の移植	
5	7月	大橋ジャンクション屋上公園・起工式	大橋ジャンクション	目黒区、首都高の共催（ ）	
6	7月頃	見沼たんぼ首都高ビオトープ・自然観察会	見沼たんぼ	地元幼稚園児による自然観察会	
7	8月	大橋換気所屋上自然再生緑地・草取り	大橋ジャンクション	たんぼの草取り	
8	10月	大橋換気所屋上自然再生緑地・稲刈り	大橋ジャンクション	地元小学校による稲刈り	
9	10月頃	見沼たんぼ首都高ビオトープ・自然観察会	見沼たんぼ	地元幼稚園児による自然観察会	
10	11月	大橋換気所屋上自然再生緑地・脱穀	大橋ジャンクション	地元小学校による脱穀	
11	12月	エコプロダクツ 2011	東京ビックサイト	首都高の環境への取組みを出展	

( ) 調整中

## 4．東日本大震災に伴う会社の対応

### 1．地震発生からの対応について

平成23年3月11日（金）14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、管内で最大震度5強を感知したため、直ちに首都高速道路全線（総延長：301.3km）を通行止めにして緊急パトロール及び緊急点検を実施。

その後、安全が確認された区間及び補修工事が完了した区間から順次通行止めを解除し、3月27日（日）21時をもってすべての路線で応急復旧が完了し、全線で通行止めを解除。

#### 【地震発生後の主な動き】

3/11（金）	14:46	地震発生、直ちに全線通行止め
	14:55	巡回パトロールカーによる特別パトロールの開始（23:50終了） 全線の緊急点検開始
3/12（土）	1:00	1号羽田線の一部、3号渋谷線の一部、横羽線、狩場線、湾岸線の一部を交通開放 （以降、安全が確認された区間及び補修が完了した区間を順次交通開放）
3/14（月）	3:00	湾岸線新木場葛西JCT間及び大黒JCT連結路を除く本線区間について交通開放
3/22（火）	3:00	湾岸線新木場葛西JCT間を交通開放
3/27（日）	21:00	大黒JCT連結路を交通開放

#### 【道路施設の被災状況】

種別	箇所数	備考
ジョイント破損	10	
路面損傷（隆起、陥没、段差、ひび割れ、液状化等）	11	
トンネル内漏水	5	
支承脱落	1	大黒JCT連結路
トラス部材の損傷	1	荒川湾岸橋
料金所損傷	1	川口線（下り）足立入谷料金所
計	29	

## 4 . 東日本大震災に伴う会社の対応

---

### 2 . 節電の取組みについて

#### (1)現在実施している節電対策

電力不足に対する政府の方針を受け、3月15日（火）から節電を実施。

道路照明（首都高総延長（301.3km）の約75%で実施）

- ・首都高速道路の道路照明のうち、ジャンクション部分及び事故多発地点の照明灯を除き、順次消灯を実施。
- ・トンネル部においては減灯を実施。

パーキングエリア内の商業施設（全P Aで実施）

- ・商業施設の営業時間を見直す他、屋内照明の減灯を実施。
- ・トイレについて、暖房便座等一部の設備を使用停止とする他、照明の減灯を実施。

事務所

- ・事務室の照明を2割程度消灯
- ・自社ビルのエレベーターの稼働を半減
- ・集約設置している自動販売機の稼働を半減



## 4 . 東日本大震災に伴う会社の対応

### (2)電力対策自主行動計画

政府の「夏期の電力需給対策の骨格」を受けた対応（経団連からの要請に対応 543社/約1,600社）<sup>4/20現在</sup>  
上記のうち、当社を含む418社が「25%以上」の節電目標を設定

#### 電力対策自主行動計画【具体的な取組み】

- (ア) 高速道路
- ・地上部の道路照明を消灯する(ジャンクション部分及び事故多発地点の照明を除く)
  - ・各トンネル部の道路照明の減灯及び換気設備の運転時間の見直しを実施する
  - ・横浜ベイブリッジ、レインボーブリッジ等のライトアップを中止する
- (イ) 駐車場
- ・駐車場内の照明を2割程度消灯する
  - ・駐車場における内照式看板を一部消灯する
  - ・換気ファンの運転時間を見直す
- (ウ) 事務所
- 1 照明設備関係
    - ・執務室照明を2割程度消灯する
    - ・日射の影響が少ない場所はブラインドを開け、太陽光を取り入れる
  - 2 熱源・空調・換気・設備関係
    - ・空調設定温度を28℃とする
    - ・不要時の空調オフを徹底する
    - ・建物東面及び南面の窓は業務終了時にブラインドを閉め翌朝の日射負荷を軽減する
  - 3 室内機器関係
    - ・席を離れるとき、昼休み、帰社時にはパソコンの電源をオフにする。また、夜間のコピー機やプリンタの電源は確実に切る
    - ・電気ポット、テレビなどは極力使用しない
    - ・電気機器を使わないときはコンセントからプラグを抜く
  - 4 エレベーター等動力関係
    - ・自社ビルにおいては、エレベーターの稼働を半減する
  - 5 その他
    - ・自動販売機を集約設置している場合は、稼働を半減する
- (エ) P A
- ・商業施設の営業時間を見直す他、照明を2割程度消灯する
  - ・自動販売機の照明を消灯する
  - ・空調設定温度を28℃とする
  - ・電気機器を使わないときはコンセントからプラグを抜く
  - ・トイレについて、暖房便座等一部の設備を停止とする他、照明の一部消灯を行う
- (オ) その他
- ・グループ会社に対して、当社と同様の取組みを実施するように指示
  - ・P A、事務所に節電啓発ポスターの掲示等

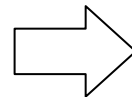
## 4 . 東日本大震災に伴う会社の対応

### ジョイント破損箇所の復旧状況

大黒線 大黒ふ頭付近(大黒大橋)



伸縮継手の損傷



路面養生

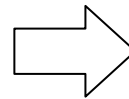
## 4 . 東日本大震災に伴う会社の対応

### 路面損傷箇所、トンネル内漏水箇所の復旧状況

#### 湾岸線 東扇島付近



路面損傷(液状化)

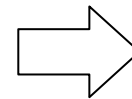


舗装補修

#### 湾岸線 川崎航路トンネル



トンネル継目からの漏水



トンネル継目の漏水補修

## 4 . 東日本大震災に伴う会社の対応

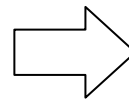
### トラス部材の復旧状況

湾岸線(東西)新木場出入口 葛西JCT (荒川湾岸橋)

構造部材を接続する部材が破断している箇所について取替えを実施



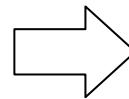
取付部材(横支材 - 下横構)の損傷



取付部材取替



取付部材(横支材 - 対傾構)の損傷



取付部材取替



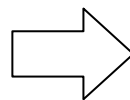
## 4 . 東日本大震災に伴う会社の対応

### 支承脱落箇所の復旧状況

大黒JCT連結路 (湾岸線 (西行き) 大黒線 (上り)、大黒ふ頭出口、大黒PA)



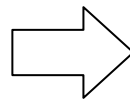
橋桁を支持する支承が脱落



橋桁をベントで支持し、支承を補修



路面損傷状況



段差修正、舗装・ジョイント補修

## 5 . 海外展開について

### 最近の新たなトピックについて

#### (1) 海外駐在員事務所の設置

設置に向け必要な手続きを実施中。4月1日付で所長を発令。

設置国	設置都市	海外駐在員事務所の住所
タイ	バンコク	14th Floor, One Pacific Place 140 Sukhumvit Rd., Klongtoey, Bangkok, 10110, Thailand
インドネシア	ジャカルタ	Ariobimo Sentral 4th Floor Jl. H. R. Rasuna Said, Kav. X-2/No.5, Jakarta 12950 Indonesia

#### (2) 海外コンサルティング事業を受注

JICA や国交省から海外コンサルタント事業を新たに受注しました。

派遣国	プロジェクト名	内容
タイ	国交省 タイ・バンコクにおける湾岸地区高速道路等の整備計画策定調査業務 / H23.2.1 ~ H23.3.25 / 長大の再委託	管理運営
タイ	JICA 地方における橋梁基本計画作成プロジェクト詳細計画策定調査 / H23.2.14 ~ H23.3.31 / 単独受注	橋梁設計・維持管理
フィリピン	JICA メガマニラ圏高速道路建設事業準備調査 / H23.3.2 ~ H23.12.5 / 建設技研・三菱総研・オリコン・首都高JV	管理運営

#### (3) 海外事業新会社設立に向け設立準備室を設置

他の高速道路会社と共同で、海外事業新会社の設置に向けた準備室を平成23年2月1日に設置しました。4月1日からは阪神高速道路(株)も加わり5社体制となりました。

都市内における高速道路の計画・建設・運営により積み上げてきた各種技術やノウハウを活用することにより、  
コンサルタント事業や投資事業など収益事業への参画を図る  
道路事業に係る国際貢献を推進する



首都高の強み ⇨ 「都市内高速道路」であるということ

密集市街地での厳しい条件下で安全・確実に建設を推進

重交通下の構造物を健全に保つ適切な点検と維持補修

高密度なネットワークでの最先端の交通管制システム

都市内長大トンネルの防災システム

## 5 . 海外展開について 【参考】現時点の主な取り組み

### (1) 外国の政府関係機関や民間企業との覚書締結

覚書締結日	覚書締結先国	覚書締結先
H21.8.24	カンボジア	・公共事業運輸省
H22.4.7	タイ	・タイ高速道路公社(EXAT)
H22.6.15	インドネシア	・ジャサマルガ社(有料道路会社) ・アストラテル社(インフラ投資会社)



### (2) JICAへの長期専門家派遣

派遣国	派遣機関及びプロジェクト名	専門分野
カンボジア	公共事業運輸省 建設の品質管理強化プロジェクト	道路建設・維持管理
	経済財務省 住民移転のための環境社会配慮能力強化プロジェクト	住民参加型計画及び開発

### (3) 海外事業展開(コンサル業務の受注)

派遣国	プロジェクト名	内容
タイ	JICA 橋梁維持管理計画策定調査(チャオプラヤ川架橋) / H22.2.25 ~ H23.3.31 / 長大・首都高JV	橋梁点検
タイ 【新規】	国交省 タイ・バンコクにおける湾岸地区高速道路等の整備計画策定調査業務 / H23.2.1 ~ H23.3.25 / 長大の再委託	管理運営
タイ 【新規】	JICA 地方における橋梁基本計画作成プロジェクト詳細計画策定調査 / H23.2.14 ~ H23.3.31 / 単独受注	橋梁設計・維持管理
フィリピン 【新規】	JICA メガマニラ圏高速道路建設事業準備調査 / H23.3.2 ~ H23.12.5 / 建設技研・三菱総研・オリコン・首都高JV	管理運営
ベトナム	JICA インフラ工事品質確保能力向上プロジェクト / H22.5.17 ~ H24.3.31 / 片平・中日本JVの片平の補強	技術資格制度



## 6. 技術コンサルティング事業の展開

### 1 首都高グループの技術コンサルティング事業について

首都高グループがこれまで培ってきた技術を生かし、国内での技術コンサルティング事業を今後拡大



持続的社会的発展に寄与

関連事業での収益向上

#### 首都高グループの主な受注実績

件名	発注者	実施年度
レインボーブリッジ巡回点検委託	東京都	平成5～22年度
大師橋橋梁点検業務	川崎市	平成20年度
鋼橋疲労対策検討業務	国土交通省道路局	平成21・22年度
PC橋維持管理方針検討業務	国土交通省道路局	平成22年度
首都高速道路を活用した横浜駅周辺地区における交通影響検討調査	横浜市	平成20年度

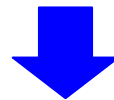
## 6. 技術コンサルティング事業の展開

### 2 道路構造物分野

道路構造物の老朽化・・・国・地方公共団体の共通課題



首都高グループ独自の技術・ノウハウを活用  
PC構造物・鋼構造物の点検・診断・維持補修分野  
での受注を目指す

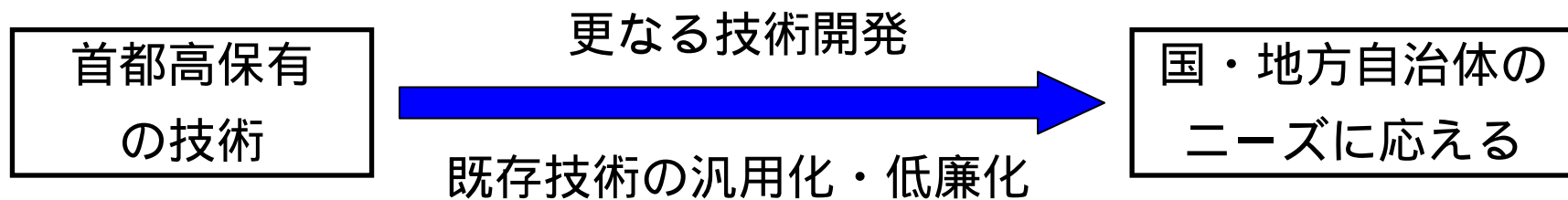


将来的に、その他の技術分野に拡大  
(道路管理者支援・長寿命化策定支援・計画調査分野など)

## 6. 技術コンサルティング事業の展開

### 3 技術開発・営業活動

#### ニーズに応じた技術開発



#### 自治体に対する営業活動

「橋梁の維持管理技術に関する勉強会」・「点検デモ」等を開催

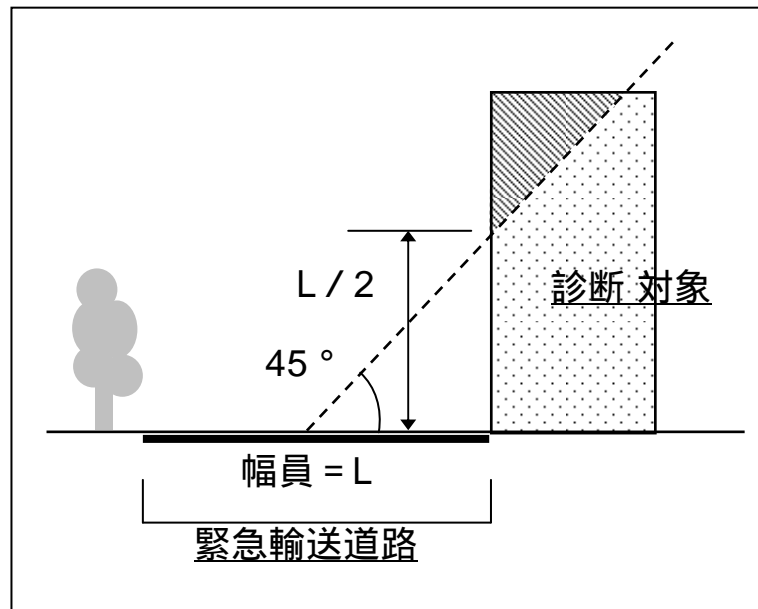


## 6. 技術コンサルティング事業の展開

### 4 建物耐震診断業務

- ・ 一級建築士事務所として、4月1日から建物耐震診断に参入しました
- ・ 首都高沿道を含む、1都3県において、鉄筋コンクリート造建物を所有するオーナーさまを対象に建物耐震診断を行い、豊かで快適な社会の創造に貢献します

「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進する条例」が4月1日施行



引用元: 東京都都市整備局出典

次のいずれにも該当する建物が対象

- ・ 緊急輸送道路に接する建物
- ・ 昭和56年5月以前に新築された建物  
(旧耐震基準)
- ・ 緊急輸送道路の幅員 (  $L$  ) のおおむね半分以上 (  $L / 2$  ) の高さを持つ建物

## 7. 首都高施設安全月間における取組み

---

毎年5月から6月の一ヶ月間を「首都高施設安全月間」と定め、道路施設の特別点検（＝首都高ウォッチング）や施設安全の年間標語の設定など、全社員が安全意識の再認識を行うための活動を実施しています。

### 1. 活動期間

平成23年5月18日（水）から6月17日（金）まで（31日間）

### 2. 活動内容

#### （1）首都高ウォッチング2011

社員の他、首都高モニター、土木工学専攻の大学生等にも参加していただき、高架下等を歩いて点検する。  
この結果は、日常の維持管理業務に役立てる。

社員ウォッチング  
モニターウォッチング  
学生ウォッチング（7大学）  
NPO法人ウォッチング



社員ウォッチング

## 7. 首都高施設安全月間における取組み

### (2) 点検・補修デモンストレーション

保全業務の重要性を広く伝えるため、点検・補修デモを現場にて開催

開催日 : 平成23年6月7日(火)PM

場所 : 高速湾岸線高架下 葛西JCT付近(荒川湾岸橋)

内容 : 点検技術のデモ・体験および補強工事状況の見学

(点検・補修デモへの取材については、後日ご案内します。)



コンクリート強度の調査



鋼構造物き裂補修デモ

### その他

#### (3) 首都高施設安全年間標語の募集、決定

#### (4) 社員等による施設安全向上会議の開催

道路施設の安全性を向上させるため社員等が幅広く参加し意見交換を実施

#### (5) 安全対策講演会・事例発表会の開催

#### (6) (財)首都高速道路技術センターの活動

安全管理の向上のために講習会を開催(工事事故状況と工事安全管理の取組み)



## 8 . 「首都高講座」の取組み

---

首都高講座とは...

首都高速道路株式会社の様々な取組みを見学会等を通じて、お客様に勉強・体験していただきたいとの思いから2008年の夏に開講しました。

首都高の建設現場、交通管制室、点検・補修の現場を、直接社員が案内しお客様に見ていただくことで、お客様に首都高について知っていただき、また身近に感じ、実際に首都高をご利用になる際には、安心して快適に走行していただきたいという事で講座を行っています。

首都高講座の開始時期と現在まで

平成20年8月9日 1限目を開始(建設中の晴海線)

平成23年4月末まで開催の講座数31回(3回補講を含む)

平成20年8月9日から平成23年4月末までの参加人数957名

### 首都高講座の様子



24限目 働く車大集合



25限目 親子でシールドマシンの組立て現場をみよう